

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和08年03月27日

計画の名称	常滑市宅地耐震化推進事業（防災・安全）												
計画の期間	令和06年度～令和06年度（1年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	常滑市												
計画の目標	常滑市内の大規模盛土造成地について、第二次スクリーニング計画に基づき第二次スクリーニングを実施することで、宅地耐震化事業を推進し災害に強いまちづくりを目指す。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	7	A	7	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (R6当初)	中間目標値	最終目標値 (R6末)
1	第二次スクリーニング結果の周知率を増加させ、地域住民の関心を高める。 周知率 = 第二次スクリーニング結果を周知した大規模盛土造成地数 / 第二次スクリーニングを実施した大規模盛土造成地数	0%	%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
常滑市地域強靱化計画に基づき実施される要素事業：A-13												

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												R06	R07	R08	R09	R10				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
市街地整備事業	A13-001	宅地耐震	一般	常滑市	直接	常滑市	-	-	大規模盛土造成地の変動 予測調査	第二次スクリーニング1箇所 (地盤調査及び安定計算)	常滑市						7	-		
												小計						7		
												合計						7		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 常滑市建設部都市計画課にて評価を実施。	事後評価の実施時期 令和8年3月
	公表の方法 ホームページ
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	第二次スクリーニング結果を地域住民に周知したことにより、大規模盛土造成地への関心が高まり、自己所有宅地における防災意欲も高まった。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	特になし。
特記事項（今後の方針等）	
第二次スクリーニング計画に基づき、第二次スクリーニングを実施した造成地について、経過観察を行うことで宅地耐震化事業を推進し、災害に強いまちづくりを目指す。	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	第二次スクリーニング結果の周知率	
	最終 目標値	100%
	最終 実績値	100%